

Docket No.: X2007.0135
(PATENT)

IN THE UNITED STATES PATENT AND TRADEMARK OFFICE

In re Patent Application of:
Kiyoshi Minakuchi

Application No.: Not Yet Assigned

Group Art Unit: N/A

Filed: Concurrently Herewith

Examiner: Not Yet Assigned

For: STRINGED INSTRUMENT CASE

CLAIM FOR PRIORITY AND SUBMISSION OF DOCUMENTS

MS Patent Application
Commissioner for Patents
P.O. Box 1450
Alexandria, VA 22313-1450

Dear Sir:

Applicant hereby claims priority under 35 U.S.C. 119 based on the following
prior foreign application filed in the following foreign country on the date indicated:

<u>Country</u>	<u>Application No.</u>	<u>Date</u>
Japan	2002-219311	July 29, 2002

日 本 国 特 許 庁
JAPAN PATENT OFFICE

別紙添付の書類に記載されている事項は下記の出願書類に記載されている事項と同一であることを証明する。

This is to certify that the annexed is a true copy of the following application as filed with this Office

出 願 年 月 日

Date of Application:

2002年 7月29日

出 願 番 号

Application Number:

特願2002-219311

[ST.10/C]:

[JP 2002-219311]

出 願 人

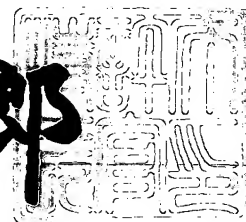
Applicant(s):

ヤマハ株式会社

2003年 5月23日

特 許 庁 長 官
Commissioner,
Japan Patent Office

太田信一郎



出証番号 出証特2003-3037985

【書類名】 特許願

【整理番号】 C30417

【提出日】 平成14年 7月29日

【あて先】 特許庁長官殿

【国際特許分類】 G10G 7/00

【発明者】

 【住所又は居所】 静岡県浜松市中沢町 1 0 番 1 号 ヤマハ株式会社内

 【氏名】 水口 清

【特許出願人】

 【識別番号】 000004075

 【氏名又は名称】 ヤマハ株式会社

【代理人】

 【識別番号】 100064621

 【弁理士】

 【氏名又は名称】 山川 政樹

 【電話番号】 03-3580-0961

【手数料の表示】

 【予納台帳番号】 006194

 【納付金額】 21,000円

【提出物件の目録】

 【物件名】 明細書 1

 【物件名】 図面 1

 【物件名】 要約書 1

 【包括委任状番号】 9723354

【プルーフの要否】 要

【書類名】 明細書

【発明の名称】 弦楽器用ケース

【特許請求の範囲】

【請求項 1】 ケース本体と蓋体とを備え、内部に弦楽器を収納する弦楽器用ケースにおいて、

前記ケース本体は上方に開放する長方形の箱体に形成され、内部に前記弦楽器のボディを固定するボディ用仕切部材と弦楽器のネックを固定するネック用仕切部材を設け、前記ボディ用仕切部材をケース本体の長手方向に移動調整可能に配設したことを特徴とする弦楽器用ケース。

【請求項 2】 請求項 1 記載の弦楽器用ケースにおいて、

弦楽器のネックを固定するネック用仕切部材をケース本体の長手方向に移動調整可能に配設したことを特徴とする弦楽器用ケース。

【請求項 3】 請求項 1 または 2 記載の弦楽器用ケースにおいて、

ネック用仕切部材の上面に複数のネック受け部を形成したことを特徴とする弦楽器用ケース。

【発明の詳細な説明】

【0001】

【発明の属する技術分野】

本発明は、弦楽器用ケースに関し、特に形状、長さが異なる各種の弦楽器の収納を可能にした弦楽器用ケースに関する。

【0002】

【従来の技術】

弦楽器のうち特に電気ギターは、他の弦楽器に比べてデザイン設計の自由度が高いため、ボディの形状、大きさ、ネックの長さが様々であり、それに合わせて専用の弦楽器用ケースを製作していた。

【0003】

【発明が解決しようとする課題】

上記したように、従来は電気ギターの形状、大きさ、長さに合わせて専用の弦楽器用ケースを設計、製作していたため、ケースの種類が増加しその製作、保管

管理が煩雑で、製品原価、物流経費、在庫負担等のコストが上昇するという問題があった。

また、ケース本体の内部に仕切りが設けられていない弦楽器用ケースの場合は、電気ギターを動かないように固定するために、ケース本体と電気ギターとの空きスペースに詰め物をする必要があった。

さらに、ユーザーにとって電気ギターを新しいものに替えたとき、その形状、大きさ、あるいは長さが古いものと異なる場合は、古いケースをそのまま使用することができず、新たに専用のケースを購入しなければならないため、ユーザーの経済的負担が大きくなるという問題もあった。

【 0 0 0 4 】

本発明は上記した従来の問題を解決するためになされたもので、その目的とするところは、形状、大きさ、長さ等が異なる弦楽器に対して共通に使用することができ、ケース自体の種類、製造コスト、物流経費等を削減し得るようにした弦楽器用ケースを提供することにある。

【 0 0 0 5 】

【課題を解決するための手段】

上記目的を達成するために第 1 の発明は、ケース本体と蓋体とを備え、内部に弦楽器を収納する弦楽器用ケースにおいて、前記ケース本体は上方に開放する長方形の箱体に形成され、内部に前記弦楽器のボディを固定するボディ用仕切部材と弦楽器のネックを固定するネック用仕切部材を設け、前記ボディ用仕切部材をケース本体の長手方向に移動調整可能に配設したものである。

【 0 0 0 6 】

第 1 の発明においては、ボディ用仕切部材が弦楽器の大きさに応じて移動調整されてボディを固定し、ネック用仕切部材でネックを固定する。

【 0 0 0 7 】

第 2 の発明は、上記第 1 の発明において、弦楽器のネックを固定するネック用仕切部材をケース本体の長手方向に移動調整可能に配設したものである。

【 0 0 0 8 】

第 2 の発明においては、ネック用仕切部材が弦楽器のネックの長さに応じて移

動調整され、ネックを固定する。

【 0 0 0 9 】

第 3 の発明は、上記第 1 または第 2 の発明において、ネック用仕切部材の上面に複数のネック受け部を形成したものである。

【 0 0 1 0 】

第 3 の発明においては、ネック用仕切部材に複数のネック受け部を設けているので、弦楽器が長さに応じて収納凹部に斜めに収納されても、その傾き角度に対応する受け部がネックを固定する。

【 0 0 1 1 】

【発明の実施の形態】

以下、本発明を図面に示す実施の形態に基づいて詳細に説明する。

図 1 は本発明に係る弦楽器用ケースの一実施の形態を示す外観斜視図で、1 はソリッド型電気ギター、2 は電気ギター 1 を収納する弦楽器用ケースである。

【 0 0 1 2 】

前記電気ギター 1 は、ソリッド型のボディ 3、ネック本体 4、スチール製の 6 本の弦 5、ブリッジ 6、弦 5 の振動を電気信号に変換するピックアップ装置 7、テールピース 8、音色、音量等を調整するための各種のつまみ 9、糸巻き 1 0 等を備えている。

【 0 0 1 3 】

前記弦楽器用ケース 2 は、形状、大きさ、長さが異なる各種の電気ギター 1 の収納を可能にするため、最も大きな電気ギター 1 の寸法に合わせて設計、製作されたもので、ケース本体 1 2 と蓋体 1 3 とを備えている。

【 0 0 1 4 】

前記ケース本体 1 2 は、底板 1 2 a、底板 1 2 a の 4 辺を取り囲むそれぞれ 2 つからなる長辺板 1 2 b、1 2 c および短辺板 1 2 d、1 2 e によって上方に開放する比較的浅い長方形の箱体に形成され、手で持って搬送するとき下となる長辺板 1 2 b の上側端縁に前記蓋体 1 3 が図示を省略した蝶番を介して開閉自在に取付けられている。一方、搬送時に上となる長辺板 1 2 c の表面には把手 1 6 と施錠装置 1 7 が取付けられている。このようなケース本体 1 2 は、通常合成樹脂

の射出成形によって形成されるが、アルミニウム、木材、再生紙等によって形成されるものであってもよい。再生紙の成形によって形成する場合は、軽量かつ安価でリサイクルが可能である。

【 0 0 1 5 】

前記蓋体 1 3 は、前記ケース本体 1 2 と同一の大きさからなる長方形の箱体に形成され、下方に開放している。

【 0 0 1 6 】

前記ケース本体 1 2 の内部には、発泡ウレタン等の発泡樹脂からなる内装部材 2 0 がはめ込まれている。内装部材 2 0 の表面には、幅 W が 3 2 0 m m 程度で内装部材 2 0 の略全長にわたって延在し最も大きくて長い電気ギターの収納を可能にする収納凹部 2 1 が形成されている。また、この収納凹部 2 1 は、電気ギター 1 のボディ 3 の前端部を固定するボディ用仕切部材 2 3 と、ネック 4 の先端部を固定するネック用仕切部材 2 4 によって第 1 ～第 3 の凹部 2 1 A, 2 1 B, 2 1 C に仕切られている。

【 0 0 1 7 】

前記第 1 の凹部 2 1 A は、前記ケース本体 1 2 の右端に位置し電気ギター 1 のボディ 3 を収納するための凹部で、前記短辺板 1 2 e 側終端壁 2 5 がボディ 3 の胴尻部形状に近似した半円形に形成されており、この終端壁 2 5 から前記ネック用仕切部材 2 4 までの長さ L が 7 5 0 m m 程度に設定されている。

【 0 0 1 8 】

前記第 2 の凹部 2 1 B は、電気ギター 1 のネック 4 を収納するための凹部で、前記ボディ用仕切部材 2 3 と前記ネック用仕切部材 2 4 との間に設けられている。

【 0 0 1 9 】

前記第 3 の凹部 2 1 C は、電気ギター 1 のヘッド部 1 1 を収納するための凹部で、前記短辺板 1 2 d と前記ネック用仕切部材 2 4 との間に設けられている。

【 0 0 2 0 】

前記内装部材 2 0 の前記収納凹部 2 1 を取り囲む枠壁部 2 6 のうち、互いに対向する長辺側枠壁部 2 6 a, 2 6 b の上面には、前記ボディ用仕切部材 2 3 とネ

ック用仕切部材 2 4 をケース本体 1 2 の長手方向に位置調整可能に固定するためのプレート 2 7 がそれぞれ固定されている。プレート 2 7 は、長辺側枠壁部 2 6 a, 2 6 b の幅と略同一の幅で長さが 4 0 0 m m 程度の細長い金属板からなり、前記第 1 の凹部 2 1 A の円弧状終端壁 2 5 の頂点から約 3 5 0 m m 離れた位置に固定されており、1 0 m m 程度のピッチで雌ねじ 2 8 が一列に加工されている。

【 0 0 2 1 】

前記ボディ用仕切部材 2 3 は、木材、合成樹脂等によって前記収納凹部 2 1 の幅 W と略等しい長さを有する角棒状に形成されており、上面中央には電気ギター 1 のネック 4 の基端部を迂回する切欠部 3 0 が形成され、上面両端部には、固定板 3 1 がそれぞれ固定されている。切欠部 3 0 の深さは、ネック 4 の基端部の厚さよりやや深い。固定板 3 1 の先端部は、前記プレート 2 7 に重なり合うようにボディ用仕切部材 2 3 の先端から突出しており、雌ねじ 2 8 のピッチと同一ピッチで 2 つのねじ挿通孔 3 3 が形成されている。このようなボディ用仕切部材 2 3 は、電気ギター 1 のボディ 3 の高さに応じてケース本体 1 2 の長手方向に 1 0 m m ピッチで移動調整され、前記ねじ挿通孔 3 3 に止めねじ 3 4 を挿通して雌ねじ 2 8 にねじ込むと、プレート 2 7 に対して固定される。

【 0 0 2 2 】

前記ボディ用仕切部材 2 3 を固定するときは、ボディ用仕切部材 2 3 によってボディ 3 の基部を押圧し、ボディ 3 の胴尻部を第 1 の凹部 2 1 A の終端壁 2 5 に押し付けて固定すると、電気ギター 1 の長手方向の移動を確実に防止することができる。前記止めねじ 3 4 としては、コインによって締付けたり緩めたりすることが可能なものが用いられる。なお、ボディ用仕切部材 2 3 は、ケース本体 1 2 の長手方向と直交している。

【 0 0 2 3 】

前記ネック用仕切部材 2 4 は前記ボディ用仕切部材 2 3 と同様に木材、合成樹脂等によって角棒状に形成されており、上面中央に 4 つのネック受け部 3 6 がネック用仕切部材 2 4 の長手方向に並設されている。ネック受け部 3 6 は、ネック 4 の先端部側を固定するもので、ネック 4 の断面形状に近似した半円形または半楕円形の凹部で構成されている。そして、ネック用仕切部材 2 4 は、前記収納凹

部 2 1 内にケース本体 1 2 の長手方向に移動自在に配設され、両端が前記プレート 2 7 にねじ止めされている。

【 0 0 2 4 】

前記ネック用仕切部材 2 4 に複数個のネック受け部 3 6 を設けた理由は、長さが長い電気ギターをケース本体 1 2 の長手方向に対して傾斜するように斜めに収納することにより、弦楽器用ケース 2 の小型化を実現するためである。すなわち、電気ギター 1 を収納するとき、ケース本体 1 2 の長手方向と電気ギター 1 の長手方向を一致させて収納すると、ケース本体 1 2 の長さを最大長さの電気ギターを収納し得る長さとする必要があるため、弦楽器用ケース 2 自体が大型化して好ましくない。

【 0 0 2 5 】

そこで、本発明においては、収納凹部 2 1 の幅 W に余裕をもたせるとともに、ネック用仕切部材 2 4 に複数のネック受け部 3 6 を設けることにより、電気ギター 1 の長さに応じて斜めに収納し得るようにしている。

【 0 0 2 6 】

このような弦楽器用ケース 2 によれば、形状、大きさ、長さが異なる各種の電気ギター 1 に対して共通に使用することができるため、ケース自体の種類を削減することができ、製造、在庫管理が容易で、製品原価、物流経費、在庫負担等のコストを低減することができる。

【 0 0 2 7 】

また、長さが異なる電気ギターであっても、ボディ用仕切部材 2 3 とネック用仕切部材 2 4 によってボディ 3 の先端部とネック 4 の基端部寄りと先端部寄りの二箇所を固定するため、ケース内で電気ギター 1 が長手方向（張弦方向）に動くおそれがない。したがって、詰め物をしたりする必要がなく、搬送時にケース内部で動いて傷つくおそれがない。

【 0 0 2 8 】

また、長さに応じて斜めに収納することができるため、ケース自体を小型化することができる。

【 0 0 2 9 】

さらに、ユーザーが電気ギターを新しいものと替えたとき、現在使用している弦楽器用ケース 2 をそのまま使用することができるため、経済的な負担を軽減することができる。

【 0 0 3 0 】

なお、上記した実施の形態はソリッド型電気ギターの収納ケースに適用した例を示したが、本発明はこれに何ら特定されるものではなく、ケース本体 1 2 の深さを深くすることによりセミアコースティック型の電気ギターにも適用することができる。

【 0 0 3 1 】

【発明の効果】

以上説明したように本発明に係る弦楽器用ケースは、移動調整可能な仕切部材を備えているので、形状、大きさ、長さ等が異なる種々の電気ギターであっても動かないように収納することができ、ケース自体の種類および製品原価、物流経費、在庫負担等のコストを低減することができる。

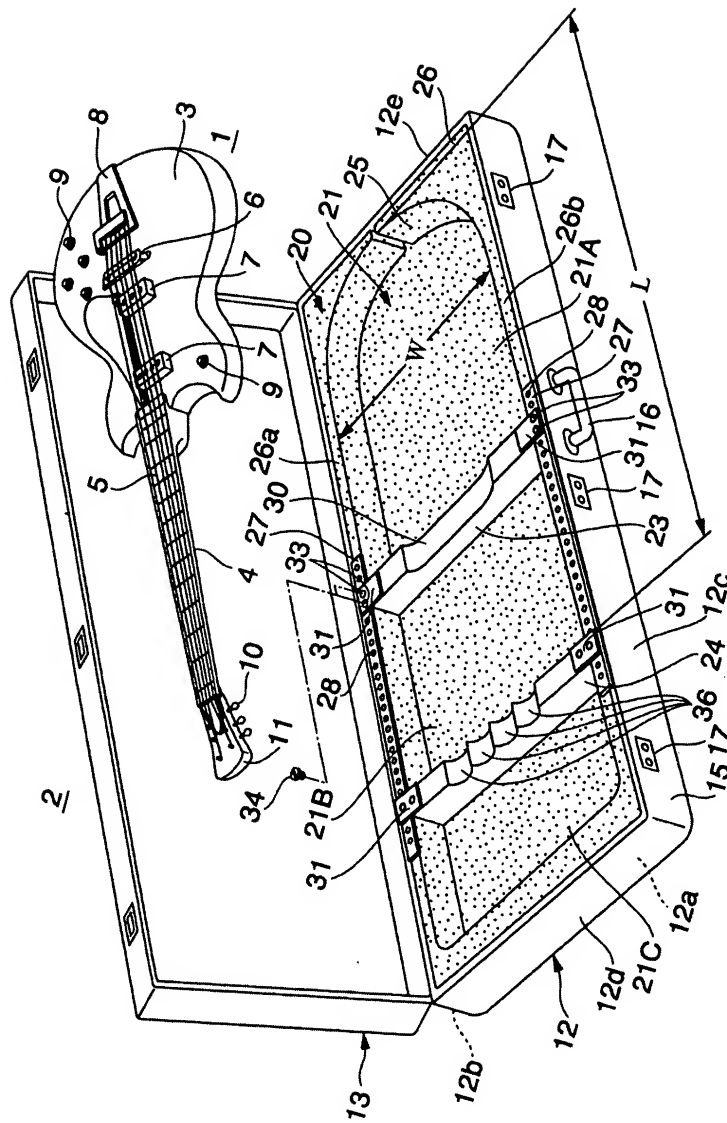
また、長さに応じて斜めに収納することができ、ケース自体を小型化することができる。

【図面の簡単な説明】

【図 1】 本発明に係る弦楽器用ケースの一実施の形態を示す外観斜視図である。

【符号の説明】

1 … 電気ギター、 2 … 弦楽器用ケース、 3 … ボディ、 1 2 … ケース本体、 1 3 … 蓋体、 2 0 … 内装部材、 2 1 … 収納凹部、 2 3 … ボディ用仕切部材、 2 4 … ネック用仕切部材、 3 6 … ネック受け部。



【書類名】 要約書

【要約】

【課題】 形状、大きさ、長さ等が異なる弦楽器に対して共通に使用することができ、ケース自体の種類、製造コスト、物流経費等を削減し得るようにした弦楽器用ケースを提供する。

【解決手段】 ケース本体 1 2 と蓋体 1 3 とで弦楽器用ケース 2 を形成する。ケース本体 1 2 の内部に発泡樹脂からなる内装部材 2 0 を配置し、この内装部材 2 0 に設けた収納凹部 2 1 にソリッド型の電気ギター 1 を収納する。収納凹部 2 0 に電気ギター 1 のボディ 3 を固定するボディ用仕切部材 2 3 とネック 4 を固定するネック用仕切部材 2 4 を設ける。ボディ用仕切部材 2 3 は、ボディ 3 の大きさに応じてケース本体 1 2 の長手方向に移動調整可能に配設され、ネック用仕切部材 2 4 は上面に複数のネット受け部 3 6 を有し、ケース本体 1 2 の長手方向に移動調整可能に配設されている。

【選択図】 図 1

特2002-219311

出 願 人 履 歴 情 報

識別番号

[000004075]

1. 変更年月日

1990年 8月22日

[変更理由]

新規登録

住 所

静岡県浜松市中沢町10番1号

氏 名

ヤマハ株式会社

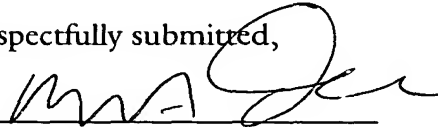
Application No.: Not Yet Assigned

Docket No.: X2007.0135

In support of this claim, a certified copy of the said original foreign application is filed herewith.

Dated: July 25, 2003

Respectfully submitted,

By 

Mark J. Thronson

Registration No.: 33,082

DICKSTEIN SHAPIRO MORIN &
OSHINSKY LLP

1177 Avenue of the Americas

41st Floor

New York, New York 10036-2714

(212) 835-1400

Attorney for Applicant